

木の祭りきまつ

新美にいみ

南吉なんきち

木きに白しろい美うつくしい花はながいつぱい
さきました。木きは自じ分ぶんのすがた
がこんなに美うつくしくなつたので、
うれしくてたまりません。けれ
どだれひとり、「美うつくしいなあ」
とほめてくれるものがないので
つまらないと思おもいました。木きは
めったに人ひとのおらない緑みどりの野の
原はらのまんかにぽつんと立たって
いたのであります。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。